

# 検討小委員会 今後の進め方(案)

原子力発電・核燃料サイクル技術等検討小委員会

平成24年1月11日

内閣府 原子力政策担当室

# 目的及び整理内容

- 原子力発電・核燃料サイクルの選択肢を幅広く提示し、その得失、選択の根拠、実現への課題などを整理すること
  1. 核燃料サイクル(再処理・直接処分・長期貯蔵)
  2. 高速増殖炉(FBR)
  3. 上記項目に係る研究開発
  4. その他原子力依存度の影響を受ける技術的事項

# スケジュール

- 第1ステップ: 核燃料サイクルの**選択肢を構成する要素**の特性(技術、安全性等)及び評価軸の整理
  - 核燃料サイクル(再処理・直接処分・長期貯蔵)
  - FBRとその他の研究開発
- 第2ステップ: 核燃料サイクルの**政策選択肢の評価軸毎の分析**
- 第3ステップ: エネルギーミックスの**選択肢を踏まえた核燃料サイクルの政策選択肢の定量的評価と課題提示**

# 議論の進め方

- 各委員には、選択肢の特性や他の選択肢との比較、得失などについて、その論拠となる資料やデータなどを議論し、整理していただく。
  - 前回大綱を含めた公開資料を基に主に事務局がデータ・資料を収集するが、委員及び他の専門家にも適宜情報提供をお願いする。
- 小委員会としての統一見解を出すことを目的としない。同意できる部分、できない部分を整理し、明確化する。
  - 論拠が明らかでない場合は、参考資料扱いとする

## 鍵になる質問(第1ステップでの例)

- 核燃料サイクルの意義・目的は何か。その意思決定に影響を与える特に重要な要因は何か。現大綱策定以降その要因はどう変化したか。今後、その要因はどう変わるか。
  - 中間貯蔵の役割やその意義は何か。
  - 高レベル放射性廃棄物処分の技術選択肢(直接処分とガラス固化体処分)で何が異なるか。
- FBR研究開発の意義・目的は何か。その意思決定に影響を与える最も重要な要因は何か。現大綱策定以降どう変化し、今後どう変わるか。
  - 目的を達成する他の選択肢はないか。それと比較してFBRはどのように優れているか、劣っているか。

## 鍵になる質問（第2ステップでの例）

- 核燃料サイクル政策の意思決定に影響を与える要因のそれぞれについて、どのような分析が得られるか。そのうち重要なものは何か。
- 原子力依存度の低減を目指した場合の影響、課題、得失はどのようなものがあるか。

# 鍵になる質問(第3ステップでの例)

- 現在の核燃料サイクル政策を継続または変更すべき理由、根拠は何か。その意思決定に影響を与える重要な要因は何か。
  - 政策変更した場合の社会的影響(コスト、雇用、立地自治体との信頼関係、投資や技術的蓄積の価値等)をどのように考えるか。
  - 中間貯蔵の果たすべき役割はどう変化するか。
  - 政策実現のための課題は何か。それを克服するためにどういう施策が必要か。
- 現在のFBR導入政策の継続または変更の理由、根拠は何か。その意思決定に影響を与える重要な要因は何か。
- どのオプションを選択すべきか。

# 第1ステップの整理の例

評価軸 \ 選択肢	全量再処理	部分再処理	全量直接処分	当面貯蔵
資源効率				
安全性・リスク				
核不拡散				
廃棄物処理・処分				
柔軟性				
エネルギーセキュリティ				
環境負荷低減				
.....				